

## 24. 外が寒いことを話す

001B : イマ カエッタヨー。

今 帰ったよ。

002A : アー オトーサン キョー サムカッタスペー。

あー お父さん 今日 寒かったでしょう。

003B : ナーントナー、バンカタノスバリー [1] ハンパデネガッタデバ。

なんとなあ、 夕方の冷え込み 半端で[は]なかったってば。

004A : アー サムイゴドサムーイゴドネー。

あー 寒いこと寒いことね。

005B : コンデア アノー スイドカンー ナー アノー ナヌカ

これでは あの 水道管 なあ あの 何か

マイデオガナクテワネーベオンナー。

巻いておかなくてはならないだろうなあ。

006A : フンダネー。ストーブ タイデモー サッパリ アッタマンネグレ

そうだね。 ストーブ たいても さっぱり 暖まらないくらい

サムイヒダデバ。

寒い日だってば。

007B : ウン。アシタ ヤッテオッカラ。

うん。明日 やっておくから。

008A : ンダネー ンデ タノムガラ。

そうだね それで[は] 頼むから。

### [1] バンカタノスバリー

「バンカタ」は「晩方」で、夕方から夜にかけての時間帯を意味する。「スバリ」は厳しく冷え込む意の「しばれる」の名詞形「しばれ」。